

「奄美の森を守ろう」

古仁屋高生徒会が募金活動

瀬戸内町

奄美大島の森の環境保護に役立てようと、瀬戸内町の県立古仁屋

シヨナル・トラスト協会(東京都)に寄付する。

った。

23、24の両日は同町古仁屋のスーパーAコ

ープ瀬戸内店前で生徒会執行部の生徒らが街頭募金を行い、買い物客から寄付を集めた。

生徒会長の緑武士君(3年)は「募金活動は初めてで不安だったが、保護者や地域の皆さんに募金してもらい励まされた」と感謝を述べ、副会長の島田千

高校の生徒会は14日から校内外で募金活動を行っている。27日まで学校行事や街頭などで生徒や職員、地域住民らに協力を呼び掛け、集まった善意は同町で森の保全活動を展開する公益社団法人日本ナ

募金はボランティア活動の一環。校内で生徒や職員に協力を呼び掛けるとともに、同校体育祭前日の22日には地元のコミュニティFM放送局で活動を紹介し、会場で保護者や地域住民から善意を募

る。同協会の関係者によると、局長は「奄美のこれらを背負う若い人たちが関心を持ってくれてうれしい」と喜び、「目標までもう一歩。奄美の自然を守るとともに、地元のためになるような土地の活用方法を検討したい。若い人から提案があれば聞いてみたい」と述べた。

発から守ろうと、同町の民有林約1000畝を取得し、寄付を募る「アミノクロウサギ・トラスト・キャンペーン」を今年3月から実施している。

目標金額2千万円に對して、24日現在の寄付総額は1901万1千円。キャンペーン期間が終了する今月末の目標達成に向けて1口千円の寄付を募っている。



奄美大島の森の環境保護に役立てようと寄付を呼び掛ける古仁屋高校の生徒会。23日、瀬戸内町古仁屋

い」と話した。

日本ナシヨナル・トラスト協会は世界自然遺産の候補地になっている同島の自然を乱開